

経営比較分析表（平成28年度決算）

千葉県君津中央病院企業団 君津中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員 民間企業出身 学術・研究機関出身 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	29	対象	ド透 未 訓 方	救 臨 が 感 災 地
人口 (人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	看護配置	
-	52,379	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

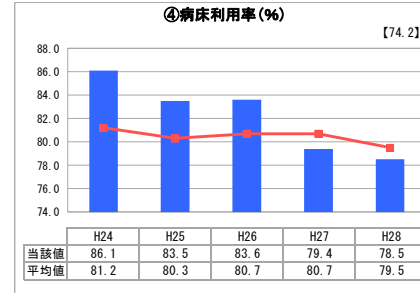
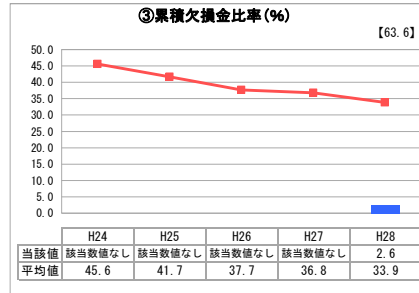
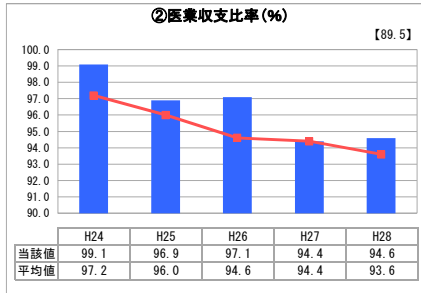
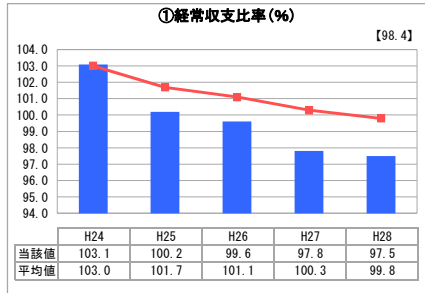
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床 (一般)	許可病床 (療養)	許可病床 (結核)
637	-	18
許可病床 (精神)	許可病床 (感染症)	許可病床 (合計)
-	6	661
稼働病床 (一般)	稼働病床 (療養)	稼働病床 (一般+療養)
637	-	637

グラフ凡例

- 当該病院値 (当該値)
- 類似病院平均値 (平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

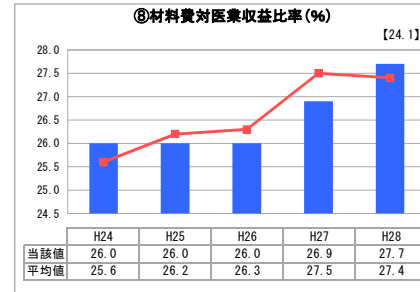
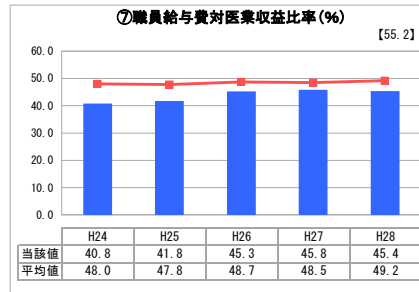
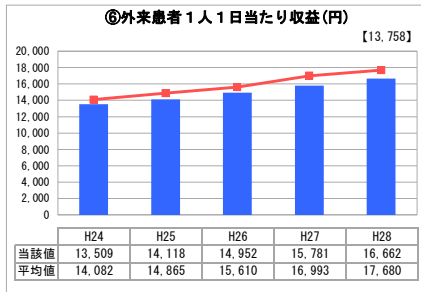
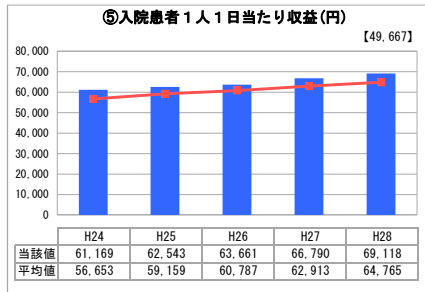


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



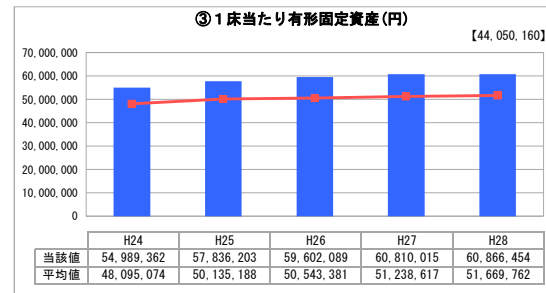
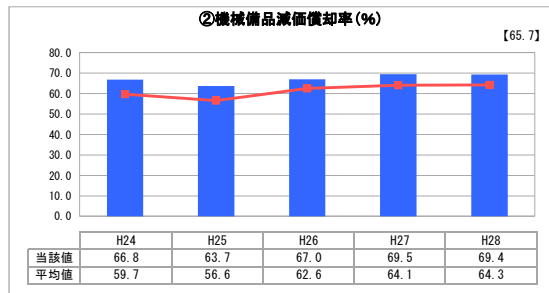
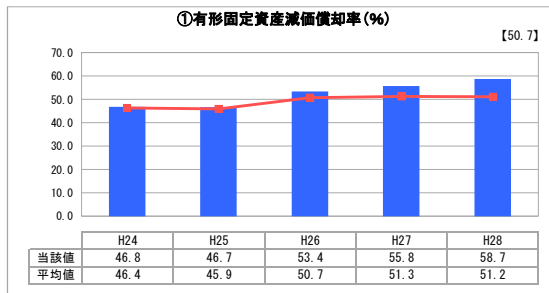
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

君津保健医療圏において、がん、脳卒中及び心筋梗塞等の心血管疾患等に対応する高度医療並びに周産期医療、三次救急医療、小児救急医療及び災害時医療等の採算性の確保が困難であり民間医療機関による提供が困難な医療を担う。また、地域医療機関との連携を図り、地域の医療水準の維持・向上に努め、基幹・中核病院としての役割を果たす。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成26年度以降は経常収支比率が100%未満であり、単年度の収支が赤字となっている。この要因として、病床利用率が低下し近年では類似病院の平均を下回っていることや、材料費対医業収益比率の上昇、外来患者 1 人 1 日 当たり 収益が類似病院の平均より低いこと等が挙げられる。また、経常収支比率が類似病院の平均を下回っている一方で、医業収支比率が類似病院の平均を上回っている年度が多いことは、一般会計からの繰出が繰出基準どおりに行われていないことを示している。

2. 老朽化の状況について

築後約15年が経過し、有形固定資産減価償却率等が類似病院の平均と比較して高い水準にあることから、設備機器の経年劣化が進んでいると言える。

全体総括

経営の健全化・効率化については、「新公立病院改革プラン」に基づき、病床利用率向上のため更なる地域連携の推進等により新規患者獲得に努めるとともに、ベンチマークシステムを活用した組織的な価格交渉の実施等により費用縮減を図り、経営改善に努める。老朽化への対応については、「君津中央病院企業団中長期維持保全計画」に基づき、費用の縮減及び平準化を図りながら、現有施設の長寿命化に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。